

市指定文化財に

新しく3件が加わります

文化財は、長い年月の間に残された先人たちの遺産です。市教育委員会は、3月28日に市指定文化財を新たに3件指定しました。この指定で市指定文化財は48件になりました。

ここでは、新しく指定された文化財を紹介します。

問合せ 藤井達吉現代美術館内文化財課 ☎(48)6602

梵鐘 (有形文化財)

所有者 安専寺 (棚尾本町3丁目)

文化財の概要 この梵鐘は、安永5年(1776年)に平坂(現西尾市)の

鋳物師・太田庄兵衛(四代)正次が製作したものです。

鋳物師・太田庄兵衛家は、寛文11年(1671年)に近江国栗太郡辻村現

滋賀県栗東市)より平坂に移住し、当地で鍋や釜などの日用品のほか寺院

の梵鐘の製作を請け負っていました。

本品は、戦時中に供出されたにも関わらず、長らく市外の寺院で使用されていましたが、縁あって平成23年(2011年)に元の安専寺に戻ったという伝来も稀有なものです。

この地域の鋳物産業の

発展に寄与した太田庄兵

衛家の現在確認できる作

品のうち、本品は市内に

現存する最古のもので、

この地域の鋳物産業の発

展を物語る貴重な文化財

です。



墨書六字名号 (有形文化財)

所有者 安専寺 (棚尾本町3丁目)

文化財の概要 室町時代に蓮如が書いた名号で、「南無阿弥陀仏」の6字が

書かれています。この六字名号は、蓮如筆の典型的な特徴をよく示し、保存

状態もよく、また安専寺に伝わる古記録で応仁2年(1468年)に蓮如か

ら授けられたと

伝えられています。

この地方へ

の蓮如の布教の

一端をうかがい

知ることができ

る貴重な文化財

です。



喚鐘 (有形文化財)

所有者 松江區 (松江町1丁目)

文化財の概要 この喚鐘は、文化7年(1810年)に大浜村字松江(現松

江町)の鋳物師・国松十兵衛(六代)光重が松江の村人のために製作したも

のです。「用心喚鐘」すなわち主に火事などの警報目的で使われたものとみ

られます。

鋳物師・国松十兵衛家は、延宝4年(1676年)ごろに近江国栗太郡辻

村より当地に移住し、当地で寺院の梵鐘などの製作を請け負っていました。

六代光重は、全国の鋳物師を支配する真継家より鋳物師職許状を受け、さ

らに勅許御鋳物師の肩書も持ち、本品は、その勅許状を受けた2年後に製作

した喚鐘で「勅許」の銘も刻ま

れています。

碧南市の地場産業である鋳物

業の祖である国松十兵衛家の現

在確認できる作品のうち、本品

は市内に現存する最古のもので、

同家の功績を後世に継承する貴

重な文化財です。

